

令和7年度（2025年度） 今治北高校大三島分校 シラバス

教科	地理歴史	科目	日本史探究	学年	第2学年	類型	II型文系
単位数	2単位	教科書	詳説 日本史（山川出版社）				
補助教材							

学習目標	社会的事象の歴史的な見方・考え方を働かせ、課題を追究したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を育成することを目指す。
------	--

学期	月	単元	学習内容・単元の目標	定期 考査
1 学期	4月	第1部 原始・古代 第1章 日本文化のあけぼの 1. 文化の始まり 2. 農耕社会の成立	・人類文化の発生を考え、日本列島における旧石器文化・縄文文化の時代の社会を理解する。 ・大陸からの稲作伝播の様子や地域性の顕著な道具の分布を踏まえて、弥生文化の形成を考察する。	中間考査
	5月	第2章 古墳とヤマト政権 1. 古墳文化の展開 2. 飛鳥の朝廷	・地域の首長の出現から統一国家に至る過程を、古墳の変容からとらえる。 ・ヤマト政権による国家の形成過程について、東アジア世界との関係を踏まえて考察する。	
	6月	第3章 律令国家の形成 1. 律令国家への道 2. 平城京の時代	・律令にもとづく国内統治体制について理解する。 ・律令体制の完成期としての奈良時代を、律令体制の状況を多角的・多面的にとらえて考察する。	
	7月	3. 律令国家の文化	・律令国家の成立期に当たる白鳳文化の形成過程について考察する。	
2 学期	8月	4. 律令国家の受容	・平安前期を中心とした古代国家の推移について、東北経営や政治改革、地方統治の変容を踏まえて、律令体制の変質を考察する。	中間考査
	9月	第4章 貴族政治の展開 1. 摂関政治 2. 国風文化 3. 地方政治の展開と武士	・藤原氏による摂関政治の成立過程と政治運営への影響について考察する。 ・大陸文化の消化と末法思想を前提とした新しい貴族文化として、国風文化が展開されたことを理解する。 ・律令制にもとづく地方統治体制の崩れへの対応が、公領支配の変質、荘園の拡大をもたらした経過を考察する。	
	10月	第II部 中世 第5章 院政と武士の躍進 1. 院政の始まり 2. 院政と平氏政権	・院政期前後の土地支配形態を踏まえて、院政期の政治・経済・社会・文化を理解する。 ・政治の動向、国際関係・経済・文化への対応を踏まえて、平氏政権の特性について考察する。	
	11月	第6章 武家政権の成立 1. 鎌倉幕府の成立 2. 武士の社会 武士の社会 3. モンゴル襲来と幕府の衰退	・鎌倉幕府が東国の地方政権から全国的な武家政権に成長していく過程を理解する。 ・承久の乱にともなう公武関係の変化に着目して、將軍独裁体制から執権政治の確立に至る過程を理解する。 ・モンゴル襲来による政治・経済・文化への影響が、幕府の衰退につながっていくことを理解する。	
12月	4. 鎌倉文化	・庶民や武士の活動が活発化し、鎌倉仏教が成立するなど、文化の新しい気運が生まれたことを理解する。		
3 学期	1月	第7章 武家社会の成長 1. 室町幕府の成立 2. 幕府の衰退と庶民の台頭	・南北朝の動乱から室町幕府の成立と安定について、日本諸地域の動向などを踏まえて考察する。 ・庶民の活動が社会秩序の変革の原動力として成長していったことを踏まえて、幕府の動揺や下剋上の風潮を考察する。 ・武家政権の支配の進展や東アジア世界との交流に着目して、武家文化と公家文化および、大陸文化と伝統文化の関わりについて理解する。	学年末考査
	2月	3. 室町文化		
	3月	4. 戦国大名の登場	・応仁の乱以降、地方権力として登場した戦国大名や各地に展開した都市について、諸地域の地理的条件と関連づけて考察する。	

学習の方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義型の授業を中心としたうえで、動画や画像などの資料を活用する。</li> <li>・グループワークやペアワークの時間をとり、生徒が主体となって考える時間をつくる。</li> </ul>
-------	---

	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
評価の観点	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連づけながら総合的にとらえて理解しているとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。
評価方法	・授業態度 ・発問評価 ・提出課題 ・定期考査		